町田市

子どもたちが主体となったイベントの実施

（担当：子ども生活部児童青少年課子どもセンターつるっこ）

事業の背景・目的

●町田市の子どもセンターでは、利用者である子どもたちが、主体的にルールづくりやイベントの企画・準備・運営などについて考え活動する、子ども委員会をそれぞれの館で設置している。
●子どもセンターつるっこでは、毎年 4 月に開館を記念し、子ども委員会を中心に、地域の青少年健全育成地区委員会や自治会のご協力のもと、多くの地域の方もご来場いただけるイベント「あにばーさりぃ」を実施し、記念日をお祝いするとともに、地域の子どもと大人の交流の場になっている。
●新型コロナウイルス感染症への対応として、大規模なイベントの自粛や、感染防止対策を徹底したイベントの実施が求められている。また、2021 年 4 月 12 日から町田市も「まん延防止等重点措置」が適用された。

事業の概要

●イベント名　開館 16 周年記念「あにばーさりぃ 16」ウィーク
●実施日程　2021 年 4 月 18 日～25 日
　※例年は 1 日での開催
●実施場所　子どもセンターつるっこ館内
●運営体制　子ども委員会、子ども委員会 OBOG、職員
●実施までの経緯
・2021 年２月　例年 1 日で行っていた開館記念イベントを 1 週間に分散して開催することを決める。また、多くの地域の方の協力が必要となるものや飲食を伴うものは、実施しないこととした。
・2021 年４月 12 日　「まん延防止等重点措置」の適用が決まり、イベントは中止としたが、この日まで準備してきた子ども委員会の意見を尊重し、実施内容を再検討し、感染症対策をしっかり行ったうえで、子ども委員会のコーナーのみ実施することになった。
●実施した内容
・遊びのコーナー（子ども委員会）
・プラバン工作（子ども委員会）
・迷路（子ども委員会）
・ドッジボール（子ども委員会）
・謎解き（子ども委員会 OB,OG）

遊びのコーナーの様子

●「まん延防止等重点措置」に伴い中止した内容
・工作コーナー、ユニカール大会、音楽あそび（すべて地域協力者による）

工夫点・留意点

迷路コーナー説明看板

●2020 年度は臨時休館のため中止した開館記念イベントを、「16 周年のイベントは絶対にやりたい！」という子ども委員会の気持ちを第一に、子ども委員会と職員で実施方法を検討した。

●コーナーを実施する上での新型コロナウイルス感染症対策についても、子ども委員会と職員で検討した。子ども委員会の子どもたちも日常の様々な場面において感染症対策に触れているということもあり、様々なアイデアが提案された。

事業の効果

●子ども委員会の子どもたちは、周年イベントを 1 日限りではなく 1 週間にわたり分散して実施することを前向きにとらえ、取り組んでいた。例えば、迷路コーナーは、通常ならば準備に丸 2～3 日を費やして完成させ、本番当日が終われば、すぐに撤収してしまう。今回、複数日で実施して、多くの参加者が迷路の中で花びらを見つけ指定の場所に貼ることで、桜をモチーフにした作品が日に日に満開になるといった、例年ではできない内容にも取り組むことができ、子ども委員会の子どもたちも新たな達成感が得られていた。

●地域の多くのイベントが中止になる中での実施となったが、参加した子どもたちや保護者の方には、とても喜んでいただけた。

●地域団体によるコーナーは、残念ながら実施には至らなかったが、準備段階での調整を通して、新たな団体ともつながることができ、次回以降のイベント等で協力いただけることになった。

●1 週間にわたる分散実施や新型コロナウイルス感染症対策を講じた新たなイベント手法を試行することができた。

課題・今後の展開

●児童館等の運営に参画する子どもたちを増やしていく必要があるため、子ども委員会の活動をより広く周知し、委員会メンバーを増やすための取り組みを行っていく。

●新型コロナウイルス感染症などに対応した、新たなイベント手法の検討実施を進めていく。

●地域団体の活動を支援し、子どもに関わる地域拠点として、地域連携を推進していく役割を担っていくことが求められている。そのため、他の子どもセンターと情報共有し、新たな地域連携の取り組みについて検討をしていく。